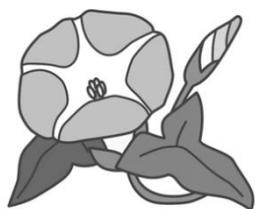


# ほっとほっとタイムズ—第4号—

2025. 7. 17

井萩小学校 特別支援教育校内委員会  
教育アドバイザー住谷陽子



長かった1学期も終わり、突然のように夏休みが始まります。皆さんのおうちでは、もうすでに計画は立てられたのでしょうか。楽しみでもある半面、子どもたちにとって自由な時間が増える長期休みはなかなか大変なのではないでしょうか。日々忙しいと、ついついずるずると休みに入ってしまうのですが、この休みを有意義に過ごすためには、入る前の計画、約束が大切ではないかと考えます。

先日(7/8)今年度初のほっとほっとティータイムを開催しました。学年もクラスも違う保護者の方がともにおしゃべりする機会ってあまりないと思うのですが、6名の方が参加してくださり、たくさんお話を伺うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。参考までに少しお知らせしたいと思います。

皆さん、共通に悩んでいらっしゃったのが、ユーチューブとの付き合い方です。これを子ども世界から完全に取り去ることはとても難しい世の中になっているようです。「うちに帰ってまず宿題に取り組んでほしいのにまずユーチューブで、宿題に取り掛かるのが遅くなってしまう」「特にショート動画は絶対見せたくない。人を馬鹿にしたようなものが多い」「見せたくなくて出かけるときリモコンを持って出たりするけれど、先に子供が隠したりする」などなど。「言うことを聞いてくれないので、大声で叱ってしまい、そういう自分が嫌になる」とか「疲れているときには、正直、手がかからないのでほっとする。でも、それに甘えている自分が嫌になる」など、一生懸命子育てに取り組めば取り組むほど悩んでしまう現実も感じました。本当に子育ての難しい時代になったことを痛感します。

では、どうしていけばよいのでしょうか。話題に出たのは3つ。①なぜ、大人がこんな風に言うのかその理由(気持ち)を子どもにきちんと伝えること ②落ち着いてるときに、子どもと一緒に約束を決めること ③できないことを叱るのではなく、できた時にほめていく(認めていく)。そしてそれはほんとは小さなことでも認めていく(スモールステップで)。子どもといえども、一人の人間。分かり合ったり、変わったりするのは一筋縄ではいきません。時間をかけてじっくり向き合うことが必要です。

先日、ある教室の前を通りかかったら、担任の先生が自分の読んだ本の中から心に残った言葉を紹介していました。「失敗した時、みんなならどうする?その人はね、次、楽しくするにはどうしたらいいかなって考えるんだって。つい、相手が悪いと考えたいけど、それをして自分は成長しないよね」。聞いていた子がすかさず、「でも、叱られたらそんなこと考えられない!」と叫んだのには笑っちゃいましたけど。子どもたちは、どの子もしっかり前を向いて聞いているのです。そういえば、以前も子どもって先生の話聞くの好きだったよなと思い出しながら通り過ぎました。

夏休み、今年は43日あります。子どもは休みだけど、保護者はお仕事というおうちも多いことでしょう。せっかくの休みだから普段できない楽しいことを計画し、家族で楽しく過ごすことも大事でしょう。でも、どこかに出かけるだけではなく、たくさんお話をするとか、同じ本を読んでみるとか、一緒に何かを作るとか、子どもと関われることはたくさんあると思います。

暑さの厳しい日が続くと思います。生活リズムに気を付け、元気で有意義なお休みが過ごせますことを願っています。

9月、元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

